

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	OZデイこくら		公表日		年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
	1	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	7		基準より多く、職員配置されています。		
	2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		出来る限りのバリアフリー化はされているものの、浴室等改善が必要と感じます。環境整備を工夫して行きます。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	7		PDCAサイクルの理解不足の為、周知し意識的に行っていききたい。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	4		可能な限り改善に努めています。		
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		職員会議や朝礼等で機会を設けています。なかなか業務改善に繋げる事が難しい。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	6		事業所内での研修実施はできているが、事業所外での機会がない為、増やしていきたい。		
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	4		しっかりアセスメント、面談を行い、ニーズに沿った計画作成を行っています。		
	9	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0				
	10	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	11	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0				
	13	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	3		事業所都合で出来ない時もある為、出来る限り行っていききたいです。		
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3		朝礼で行っています。		
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		送迎から戻った後、可能な限り共有しています。		
	16	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	3		個人記録に記録をしています。		
	17	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0				

	18	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	8	0		
	19	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		必要な場合には連携を図っています。
	20	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	2		年に一度、学校の連携会議に出席しています。また毎月連絡調整を行っています。
	21	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6		必要な場合には情報共有を行っています。
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5		放課後等デイサービスから生活介護での利用がある場合には、支援学校にて情報共有の会議に参加しています。
	23	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		児童発達支援センターと関わる機会がありません。
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		感染症等リスク観点から望まない方もいるため、その機会は設けていません。
	25	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7		参加していません。
	26	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	0	8		日々の様子等は日頃から保護者様へお伝えしています。発達の共通理解を持っているかについて、はいと言えるかは難しい。
	27	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		家族支援プログラム等はありませんが、積極的に情報共有を行っています。
保護者への説明等	28	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	7		運営規定は入口横に掲載し、負担額、利用料金については契約時や変更時に説明をしています。
	29	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	30	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		父母の会を望まない声もありますが、交流できる機会を予定しています。
	31	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	0	8		契約時や面談時に苦情あれば、担当者の管理者へご連絡をお願いしています。
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		LINEや面談時、動画や写真を使い、共有を図っています。
	35	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		防犯上招待などは行っていません。市民センターとの交流はあります。
	36	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	8		安全計画にマニュアルがあります。保護者様にも昨年度、周知しています。職員にも安全計画に目を通すよう連絡してあります。出来る限り月1で訓練するよう努めています。
	37	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		BCPは策定してあり、出来る限り訓練を行っています。

非常時等の対応	38	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	39	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		虐待について、年1回は担当者が外部研修を受けて、研修や共有を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2		職員全員で話し合い、保護者様へ説明し理解を得た上でを行い、記録をしています。個別支援計画にも記載しています。